

議会便り 第5号 (1-5) 市内①

平成16年10月05日発行
東堂陽一 Tel. 23-3091

I. 議会こよみ

議員活動の一部です。

(9月)

- 01日 掛川市総合防災訓練
- 03日 9月議会始まる。
- 04日 小笠・掛川「子どもを守る文化会議」(大東町中小学校)
- 05日 掛川市障害者・母子スポーツ大会(さんりーな)
- 09日 1市2町社会福祉協議会合併調印式(大東町シオーネ)
- 10日 小笠掛川保健・福祉・医療研究会「研修会」
- 14日 本会議で一般質問を行う。
- 18日 90歳年輪の集い
- 19日 市民1人1スポーツフェスティバル
健康長寿者(95歳以上で介護認定を受けていない方)表彰式
- 20日 敬老会
- 21日 街頭交通指導
- 28日 義務教育問題特別委員会を中央小学校で開催(現場の声を聞く)
- 30日 9月議会最終日

(10月)

- 01日 赤い羽根街頭募金に協力(街中)
- 02日 第11回一豊公&千代様サミット参加



小笠・掛川「子どもを守る文化会議」(9月4日)



一豊公&千代様サミット(10月2日)

II. 市政トピックス

1. 9月議会終わる(9月3日~9月30日)

「127,476万円の増額補正予算」、「平成15年度一般会計及び特別会計決算」を始めとして、請願、陳情各1件を含む19件の議案等の審議を行いました。

- ・「一般会計補正予算」の内訳は、

合併準備経費	11,995万円	
自主運行バス補助金追加	4,556万円	
地域環境整備調整費増	9,780万円	等です。

2. 健康長寿

9月に3つのお年寄り関連の催しがありました。最初は90歳年輪の集い。いま掛川市の人口は、83,560人で、100歳以上の方は13人、90歳以上の方は759人です。90歳の集いには180人の対象者のうち57人が出席されました。つぎに健康長寿者(95歳以上で介護認定を受けていない方、42名)の表彰式がありました。95歳以上の方は173名いらっしゃいます。3番目に敬老会がありました。市内該当者6,461名です。私の出席した桜木地区敬老会には400名(該当者は677名)近くの方が出席されました。いずれの会でも皆さんのお元気さには感心しました。役員さんやボランティアの方々のお骨折りもあり楽しい催しでした。

さて、掛川市の高齢化率(65歳以上の人の率)は18.6%で、静岡県平均(19.3%)より若干低めですが、今後さらに増加します。高齢者福祉をどう実現していくかは、大きなテーマです。

日本一の長寿村、沖縄県の大宜味村で聞いた長寿の理由です。

- ① 温暖な気候
- ② 食生活 肉類(油抜きした豚肉)、大豆(豆腐)、緑黄色野菜、海草(こんぶは日本一食べる)の摂取量が多い。食塩摂取量は非常に少ない。
- ③ 生涯現役(身体を動かす)
- ④ 休養(質のよい睡眠、昼寝もする)
- ⑤ ものにあまりこだわらず、おおらかな心で過ごす。

ということでした。参考にしてみてください。

◆うら面もあります◆

II. 市政トピックス(つづき)

◆前のページの続きです◆

3. 少子化

高齢化と対極にある少子化も大きな社会問題です。出生率1.3前後の現状では、あっという間に社会の様子が変わってしまいます。社会全体の活力低下、子どもの自主性・社会性がそだちにくくなる、さらには、経済基盤への影響、社会保障制度における負担の増大など、大変深刻な問題を含んでいます。少子化対策・子育て支援はこれから最も真剣に取り組んでいかなければならないテーマです。

4. 駅前再開発ビル

今年の市政の重要課題のひとつであった掛川駅前の再開発ビル建設事業は、採算性に課題を残し、基本計画の見直しが決まりました(事業の延期)。各種の会合のときに聞いた皆さんの意見も殆どが事業の中止か見直しすべきというものでした。ただ、駅前掛川市の顔であり、このままというわけにはいかず、より現実的な再開発計画の立案が求められます。

5. 新市市長選

新市の市長選については、何人かの候補者の名前が取りざたされ、また擁立に向けた動きもあります。動向が注目される榛村現市長ですが、9月議会の一般質問の答弁で「個人として、はこの辺で新しい体制を作った方がいいと思う。しかし、合併という事態が生じたこともあり、11月16日の最終合併協議会までは全力投球で合併にむけての施策まとめていくが、その後、周囲や合併する両町の意向も踏まえて最終判断をしたい。今の時点で態度を明確にするのはせんえつと思う。」と延べ、現時点での出馬の意思を明らかにしませんでした。しかし、現職の動向が新市長選に大きく影響してくるものと思われ、注目をしているところです。

6. 西交番?北交番?

桜木入口、秋葉路交差点の西側に新しい交番ができますが、この名称を決める区長さん・議員を中心とした会議がありました。最初は投票の結果、北交番ということになりましたが、後日、警察から別の名称にできないかという申し出があり、再検討の結果西交番に内定しました。平成17年2月中旬オープン。交番所長以下7人体制で、現鳥居・桜木交番を合わせた区域が管轄となります。

7. 2006年 大河ドラマ「功名が辻 ~山内一豊の妻~」(制作発表資料より)

企画意図

この大河ドラマは、司馬遼太郎「功名が辻」を原作に、「励ますこと」に特別の才能をもった山内一豊の妻、千代と「愚直」という真心ひとつで戦国の終わりまで駆け抜けた夫、一豊の愛と知恵の歴史を描きます。

状況を読みぬく知恵、人の心をつかむ知恵、そして自分の正義を貫く知恵。それらを支える夫婦の愛。

「妻の知恵」と「仕える側」の目線という視点から戦国時代を新しく描き直します。

主な舞台は、長浜(滋賀)、掛川(静岡)、そして土佐

III. 9月議会での私の一般質問(通告要旨)

1. 行財政改革について

- (1) 新市の組織・機構において組織・機構のスリム化の考えはどの様に反映されているか
(合併効果によるもの、それ以外のもの)
- (2) 新行政評価システムの評価観点・手法はどうか
- (3) 個別行財政需要とマクロ市財政対応力の検討について、また予算優先順位の方向性は?
- (4) 事業費別予算のメリット、デメリットは、特に行政効率化への寄与に関して
- (5) 手厚い社会保障か最低保障か(セーフティネット)か
- (6) NPOの育成と活用について
- (7) 各種施設の維持管理費をどうするか
- (8) 経費節減策、アウトソーシング等の具体策について

2. 環境(ゴミ)問題について

- (1) ゴミの量の増加に対する分析と対策について
- (2) 昨年度の対策後の不法投棄の現状はどうか
- (3) アダプトプログラム
周知方法、手続き、現状等について、また他制度との調整は大丈夫か

3. 区画整理事業保留地について

- (1) 現状は?
- (2) どの様な販売促進策を考えているか
- (3) 保留地に対するこれからの対応をどう考えるか

今回の一般質問ではトップバッターを務めました。市長の得意な分野の質問だったのか、それとも朝一番で元気一杯だったのか、丁寧な回答をいただき、私の質問時間(30分以内の制限あり)と当局の答弁時間(制限なし)を合わせると2時間近くにもなりました。(さすがに後で議長から、答弁が長すぎるとの注意がありました。)

議会便り 第5号 (1-5) 桜木①

平成16年10月05日発行
東堂陽一 Tel. 23-3091

I. 議会こよみ

議員活動の一部です。

(9月)

- 01日 掛川市総合防災訓練
- 03日 9月議会始まる。
- 04日 小笠・掛川「子どもを守る文化会議」(大東町中小学校)
- 05日 掛川市障害者・母子スポーツ大会(さんりーな)
- 09日 1市2町社会福祉協議会合併調印式(大東町シオーネ)
- 10日 桜木細谷線(旧広域農道北小笠線)現地踏査
(桜木・原谷・和田岡3地区合同で行う)
小笠掛川保健・福祉・医療研究会「研修会」
- 14日 本会議で一般質問を行う。
- 18日 90歳年輪の集い
- 19日 市民1人1スポーツフェスティバル
健康長寿者(95歳以上で介護認定を受けていない方)表彰式
- 20日 敬老会
- 21日 街頭交通指導
- 15日 桜木保育園運動会
- 28日 義務教育問題特別委員会を中央小学校で開催(現場の声を聞く)
- 30日 9月議会最終日

(10月)

- 01日 赤い羽根街頭募金に協力(街中)
- 02日 第11回一豊公&千代様サミット参加



桜木細谷線現地踏査(9月10日)



桜木地区敬老会(9月20日)